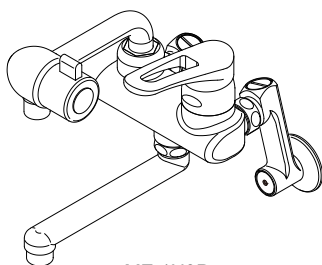
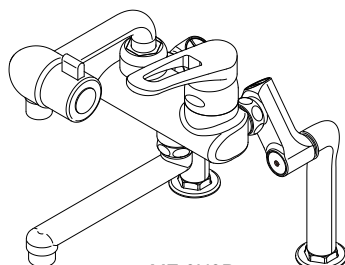
工事要領・取扱説明書

製品名：熱湯口付混合栓ワンレバーまぜまぜ P
（ESD シリーズ／ ES-DW シリーズ専用）

型　式：MZ-1N3P,3N3P

MZ-1N3P

MZ-3N3P

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本書を事前によくお読みになり、理解した上で設置、ご使用ください。
設置工事（試運転）後は、必ず本書をご使用になる方にお渡しください。
本書は、いつでもご覧になれるよう所定の場所に保管してください。
（この工事要領・取扱説明書に記載されている事項を守らずに発生した事故について、
弊社は一切責任を負いません。）

株式会社日本イトミック

〒 131-0045 東京都墨田区押上 1-1-2 東京スカイツリーイーストタワー 24F
TEL:03（3621）2121 （大代表）　　FAX:03（3621）2130
フロント課（修理依頼承り先）
TEL:03（3621）2161 （代表）　　FAX:03（3621）2163

もくじ

共通項目

安全上のご注意

本書には、お客様への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、お守りいただく事項を記載しています。設置の前に、必ず本書をお読みになり、内容をよく理解された上で設置してください。製品引き渡しの際は必ず本書をご使用になられる方にお渡しください。

警告表示の意味

本書では、取り扱いを誤った場合などの危険の程度を、次の2つのレベルに分類しています。

警告 この表示の欄は、『死亡または重傷などを負う可能性が想定される』内容です。

注意 この表示の欄は、『傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される』内容です。

△の記号は、注意（警告を含む）をうながす事項を示しています。
△の中に具体的な注意内容が描かれています。
（左図の場合は『高温注意』という意味です。）

⃠の記号は、してはいけない行為（禁止行為）を示しています。
⃠の中や近くに、具体的な禁止内容が描かれています。
（左図の場合は『分解禁止』という意味です。）

●の記号は、しなければならない行為（強制行為）を示しています。
●の中に、具体的な指示内容が描かれています。
（左図の場合は『電源プラグをコンセントから抜くこと』という指示です。）

重要事項：必ずお守りください

⚠警告

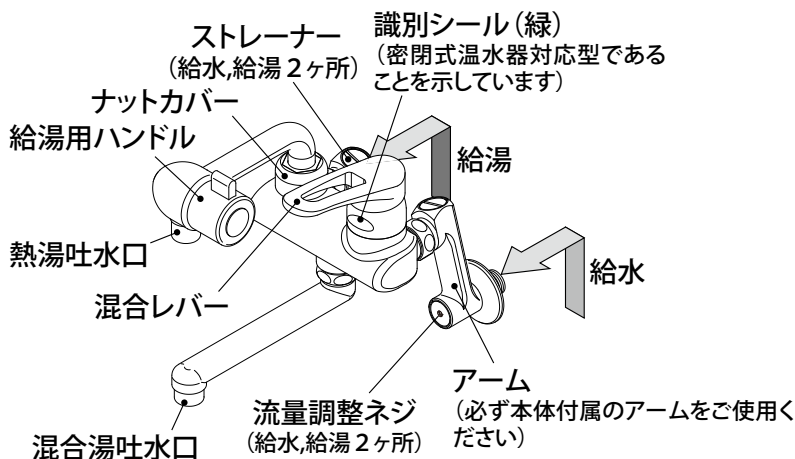
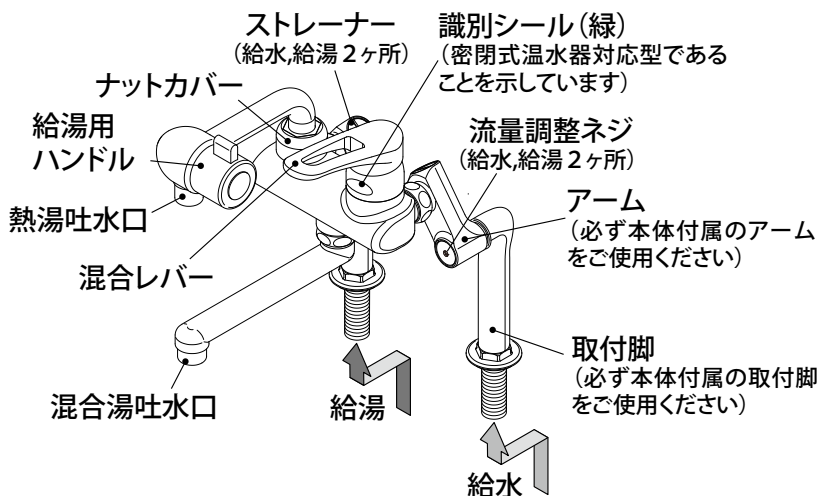
	給湯中とその直後は高温になっていますので、本体に直接触れないでください。また、熱湯吐水口の下に手を出さないでください。 やけどのおそれがあります。

⚠注意

	本体や吐水管に物を置いたり重いものをぶら下げないでください。 故障や漏水の原因となります。
	本体や吐水管に強い力や衝撃を与えないでください。 故障や漏水の原因となります。
	配管は正しく行ってください。 逆に配管した場合、水を出そうとしても湯が出てしまい、やけどをするおそれがあります。
	絶対に改造はしないでください。 故障や漏水の原因となります。
	施工の際は付属の純正部品を必ずご使用ください。 故障や誤動作の原因となります。
	水の凍結が予想される所では凍結防止処置を施してください。 配管が破裂してやけどや漏水の原因となるおそれがあります。
	混合湯を使用する場合は必ず低い温度から出湯してください。 やけどのおそれがあります。
	ハンドルおよびレバー操作はゆっくり行ってください。 本体を破損するおそれがあります。
	ストレーナー清掃の際は必ず止水栓を閉めて行ってください。 漏水の原因となります。

まぜまぜP（型式：MZ-N3P）について

MZ-N3Pは密閉型の床置式電気給湯器 ESDシリーズ／ ES-DWシリーズ専用です。
ワンレバー式混合水栓シリーズで、配管方法によって2種類あります。

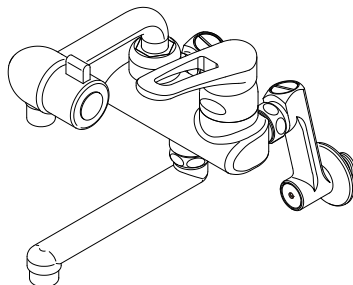
ラインナップと各部名称

工事要領

正しく取り付けるため、必ずこの手順に沿って施工してください。

施工前にご確認ください

1. 部品の確認

【製品に同梱されています】

MZ-N3P本体

図はMZ-1N3P。各型番の違いはP.5参照→

付属品 ･･･ 全型番共通のもの

iTOMIC

工事要領・取扱説明書

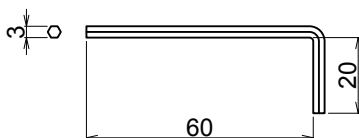
製品名：熱湯口付混合栓ワンレバーまぜまぜ P
（ESDシリーズ／ES-DWシリーズ専用）

型　式：MZ-1,3N3P

MZ-1N3P　MZ-3N3P

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本書を事前によくお読みになり、理解した上で設置・ご使用ください。
設置工事（試運転）後は、本書をご使用になる方に必ずお渡しください。
本書は、いつでもご覧になれるよう所定の場所に保管してください。
（この工事要領・取扱説明書に記載されている事項を守らないで発生した事故について、弊社は責任を負いません。）

株式会社日本イトミック
〒130-0002 東京都墨田区業平5-11-3 イトミックビル
TEL.03(3621)2121(大代表)　FAX.03(3621)2130
フロント課(修理依頼承り先)
TEL.03(3621)2161(代表)　FAX.03(3621)2163

工事要領、取扱説明書×１
（この冊子です。当冊子は工事終了後、ご使用になられる方へお渡しください。）

六角棒スパナ（呼び3）×１
（工事終了後、ご使用になられる方へお渡しいただき、当冊子と一緒に保管してください。）

付属品 ･･･ 型番により異なるもの

MZ-1N3P

送り座金×２
熱湯口付混合栓の使い方シール×１

MZ-3N3P

取付脚（給水×１、給湯×１）
混合栓の使い方シール×１

【お客様にてご手配ください】

①電気給湯器
まぜまぜPはESDシリーズ／ ES-DWシリーズ専用です。

②シールテープ
配管接続部分から漏水させないために必要です。

2. 設置場所の確認

チェックリスト

項　目	チェック内容	チェック
凍結対策	**冬季にも凍結しない場所ですか？** 冬季に凍結する場所の場合、保温工事が必要になります。	□
メンテナンススペース	**メンテナンスのために本体を取り外せるスペースは確保されていますか？** メンテナンススペースが取られていないと 、修理やメンテナンスの際に製品を取り外すことができません。	□
取付場所	**（壁面取り付けの場合）垂直な壁面ですか？** 垂直でない場合はお取り付けいただけません。	□
	満水質量に耐えられる場所ですか？ 強度が不十分な場合は補強を行うなどの対策が必要です。	□
給湯配管	**給湯器からまぜまぜPまでの配管距離が2m 以内に収まる場所ですか？** 放熱ロスを防ぐため、給湯配管は最長でも2m 以内におさえてください。	□
給水圧力	**給水圧力は0.05 ～ 0.3MPaの範囲内ですか？** スムースに給湯できませんので、必ず上記の範囲の給水圧力であることを確認してください。	□

施工する

1. 設置、配管する

⚠注意

本体や吐水管に強い力や衝撃を与えないでください。
故障や漏水の原因となります。

配管は正しく行ってください。
逆に配管した場合、水を出そうとしても湯が出てしまい、やけどをするおそれがあります。

施工の際は付属の純正部品を必ずご使用ください。
故障や誤動作の原因となります。

水の凍結が予想される所では凍結防止処置を施してください。
配管が破裂してやけどや漏水の原因となるおそれがあります。

お願い

- **本体に付属しているアーム、取付脚を必ずご使用ください。**
- **お湯が出なくなるおそれがありますので、混合湯吐水口には絶対に浄水器を取り付けないでください。**

MZ-1N3P【壁取付タイプ、埋め込み配管型】

①アームのおねじ部に送り座金をねじ込み、おねじ部先端から10mm位にお客様手配品のシールテープを巻き、壁面の給水管および給湯管に接続します。

②アームの袋ナット内にパッキンを入れます。

③左右のアーム同士の間隔を約100mm（下図 ※）に調整し、MZ本体を取り付けます。

④漏水のないよう、接続部をしっかりと締めてください。

組立方法

注：シールテープは巻き過ぎると座金が回らなくなるので、奥まで巻かないでください。

配管接続方向

MZ-3N3P【デッキタイプ、立ち上がり配管型】

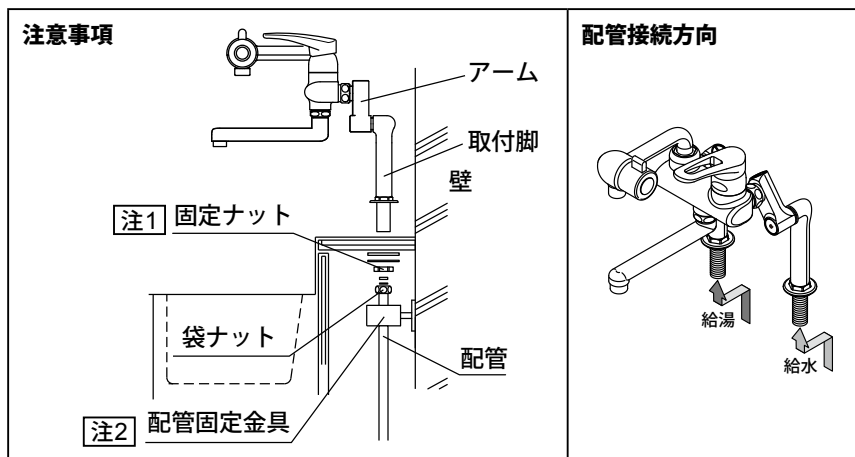
①固定ナットを使用して取付脚と流し台を固定します。
　※流し台取付部が強度的に弱い場合は、補強板等で補強してください。

②アームのおねじ部の先端から10mm位にお客様手配品のシールテープを巻き、取付脚に接続します。(→ P.9『MZ-1N3P』参照)

③アームの袋ナット内にパッキンを入れます。

④左右のアーム同士の間隔を約100mmに調整し、MZ本体を取り付けます。(→ P.9『MZ-1N3P』参照)

⑤給水管と給湯管をそれぞれ取付脚に接続します

⑥漏水のないよう、接続部をしっかりと締めてください。

注１：MZ-3N3P本体は前のめりに重量がかかる上に、下部から配管する構造のため、設置作業時に固定金具類の締め込みが足りないと、ねじ込み部が緩みがちになりますので、**しっかり固定してください**。

注２：お客様手配品の配管固定金具などで**必ず配管自体を固定してください**。

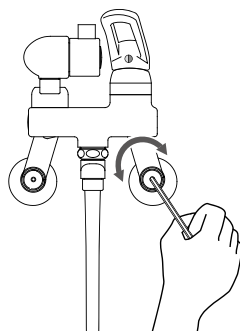
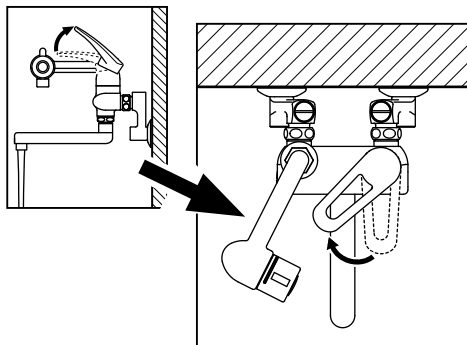
2. 設置、配管後の確認

工事終了後、以下の事項をご確認ください。

チェックリスト

項　目	チェック内容	チェック
設置工事	がたつきはありませんか？	□
配管工事	各配管、継手に漏水はないですか？	□
流　　量	水圧は十分ですか？ 流量は適切ですか？（→ P.11「調整する」参照） ストレーナーにゴミが詰まっていませんか？ （→ P.17「ストレーナーの清掃」参照）	□

3. 調整する

給水圧 0.2MPaの想定で温度・湯温を調整して出荷しておりますので、取付後に現場の状況に応じて出湯量や混合湯温の再調整を行ってください。

取扱説明

正しく安全にお使いいただくため、必ずお読みください。

使用方法

⚠警告	
	給湯中とその直後は高温になっていますので、本体に直接触れないでください。また、熱湯吐水口の下に手を出さないでください。 やけどのおそれがあります。

⚠注意	
	本体や吐水管に物を置いたり重いものをぶら下げないでください。 故障や漏水の原因となります。
	本体や吐水管に強い力や衝撃を与えないでください。 故障や漏水の原因となります。
	絶対に改造はしないでください。 故障や漏水の原因となります。
	混合湯を使用する場合は必ず低い温度から出湯してください。 やけどのおそれがあります。
	ハンドルおよびレバー操作はゆっくり行ってください。 本体を破損するおそれがあります。

1. 使用前の準備と確認

ご使用の前に次の事をご確認ください。

チェックリスト

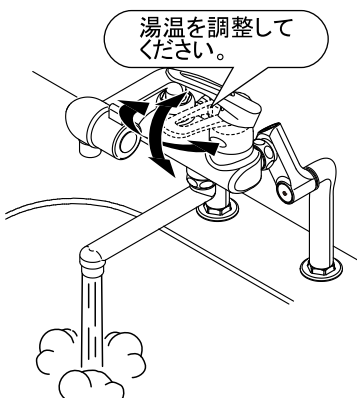
項　目	チェック内容	チェック
本体まわり	がたつきはありませんか？	□
配管まわり	各配管、継手に漏水はないですか？	□

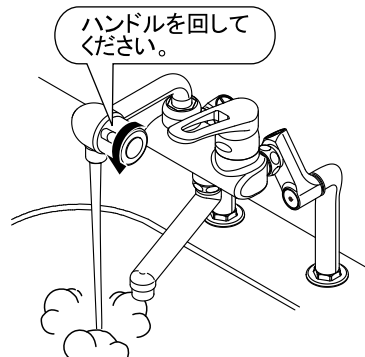
2. 出湯する

お願い

●お湯が出なくなるおそれがありますので、混合湯吐水口には絶対に浄水器を取り付けないでください。

洗い物用の混合湯を出す

熱くする：レバーを上げて左へ回す。
ぬるくする：レバーを上げて右へ回す。

飲料用の熱湯を出す

熱湯用ハンドルを下へ回す。

※混合湯専用タイプは除く。

⚠注意

絶対に改造はしないでください。
故障や漏水の原因となります。

水の出しはじめに少量のぬるま湯が出る場合があります。
冷水を使用する場合には、しばらく流してからお使いください。

出湯時の注意点

●本製品の混合栓側は出湯時に必ず湯水を混合する構造になっているため、レバーを湯側一杯に回しても給湯器の設定温度で出湯されることはありません。

●混合湯温の調整はレバーの左右で行うか、流量調整ねじで行う必要があります。（P.11「調整する」をご参照ください。）

●レバーの上げ下げによる出湯量の調整はできません。お湯を使用される場合、レバーを上一杯にしないとお湯にならない場合があります。

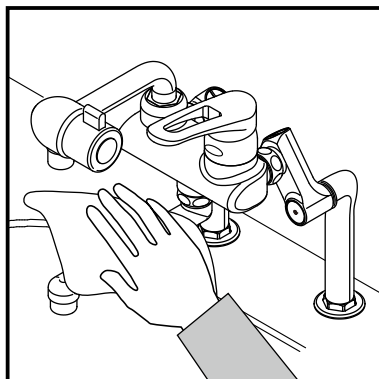
●混合湯温は給水温度に左右されます。給水温度が低いと混合湯温も低くなり、給水温度が高いと混合湯温も高くなります。

日常のお手入れ

本体の清掃

水に浸して固く絞った布で、汚れがひどいときは**適量にうすめた中性洗剤**に浸して固く絞った布で拭いてください。

清掃の際、以下のものは使用しないでください。

- たわし
- アルカリ性洗剤
- 酸性洗剤
- ベンジン
- 油
- クレンザー

こんなときは

製品が不調な際、修理依頼の前にご確認ください。ここに記載の対処を行っても状態が改善しない場合は、次ページの「アフターサービス」をご参照ください。

状　況	ご確認ください	対処方法
混合湯が熱い	止水栓は全開になっていますか？	止水栓を全開にしてください。
	流量調整ネジの開度は適切ですか？	P.11「調整する」をご参照の上、調整してください。
お湯がぬるい	給湯器は正常に運転していますか？	給湯器の取扱説明書をご参照の上、ご確認ください。
	お湯を大量に使用した後ではありませんか？	沸き上がるまでお待ちください。 詳細は給湯器の取扱説明書をご参照ください。
	流量調整ネジの開度は適切ですか？	P.11「調整する」をご参照の上、調整してください。
お湯が出ない	給湯器は正常に運転していますか？	給湯器の取扱説明書をご参照の上、ご確認ください。
	流量調整ネジの開度は適切ですか？	P.11「調整する」をご参照の上、調整してください。
お湯も水も出ない	断水ではありませんか？	断水が終わるまでお待ちください。
	配管や混合栓が凍結していませんか？	溶けるまでお待ちいただき、その後は凍結防止策を講じてください。
流量が少ない	止水栓は十分に開いていますか？	止水栓を全開にしてください。
	配管やまぜまぜPのストレーナーに詰まりはありませんか？	P.17「ストレーナーの清掃」をご参照の上、清掃してください。配管に関しては管理技術者の方にご相談ください。
	【お湯の場合】 給湯器は正常に運転していますか？	給湯器の取扱説明書をご参照の上、ご確認ください。
	配管に異常はありませんか？	管理技術者の方にご相談ください。
水やお湯が止まらない	ハンドル類は正しい止水位置になっていますか？	ハンドル類が止水位置になっていることをご確認ください。 止水位置になっていても止まらない場合は部品の消耗が考えられます。 弊社フロント課または最寄りの営業所・地区販売会社までご連絡ください。
ナットカバーが緩んでいる	ナットカバー部からお湯が漏れた形跡がありませんか？	給湯器の使用を中止し、弊社フロント課または最寄りの営業所・地区販売会社までご連絡ください。

ストレーナーの清掃

管理技術者の方のみ

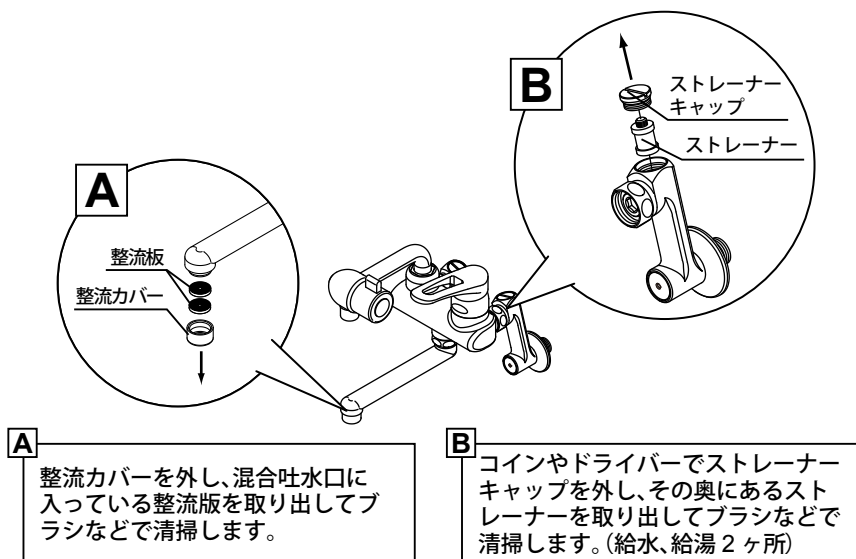
⚠注意	
	絶対に改造はしないでください。 故障や漏水の原因となります。

まぜまぜPには配管のゴミなどをろ過するために「ストレーナー」が入っています。
配管のゴミなどによってこのストレーナーが詰まると、流量不足などの原因となりますので、日常的に清掃を行ってください。

①止水栓を閉め、給湯器の電源をOFFにしてください。(給湯器取扱説明書、参照)

②給湯器内のお湯と、まぜまぜ本体が十分に冷めているのを確認してから、次のA、Bの作業を行ないます。

A 整流カバーを外し、混合吐水口に入っている整流版を取り出してブラシなどで清掃します。

B コインやドライバーでストレーナーキャップを外し、その奥にあるストレーナーを取り出してブラシなどで清掃します。(給水、給湯２ヶ所)

③清掃後、取り外した部品を逆の要領で取り付けます。

④止水栓を開き、給湯用ハンドル、混合レバーを全開にします。空気を含んだ水が出ますので、水が安定するまで流し続けてください。

⑤給湯用ハンドル、混合レバーを閉め、給湯器の電源をONにし作業終了です。

アフターサービス

消耗品について

下記に記載の部品は定期的に交換が必要な消耗部品です。劣化による動作不良や漏水を防止するため定期的に交換してください。(下表参照) 交換(有償)、購入のご依頼は弊社フロント課もしくは裏表紙に記載の最寄りの地区販売会社にご依頼ください。

部品名	交換時期の目安	交換いただく理由
パッキン類	設置、交換日より2年	長期間ご使用いただくことにより、経年劣化やスケール※による動作不良や漏水を起こす可能性があります。漏水が起きた場合大きな被害を与えることがありますので、交換することによりそれらを防止します。(※水道水中のミネラル分が固着したもの。)
カートリッジ	設置、交換日より3年	

※上記以外でも部品交換が必要になる場合があります。使用頻度、環境によっては交換時期が早まる場合があります。

補修用性能部品について

本製品の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後７年です。

修理をご依頼の際には

修理をご依頼される時は、下記の故障状況シートをコピーして必要事項をご記入いただき、FAXにてご送付ください。FAXをお使いになられていない場合は記入事項をお電話にてご連絡ください。

(株)日本イトミックフロント課 FAX 03-3621-2163 (TEL 03-3621-2161)
※もしくは裏表紙に記載の最寄り地区販売会社へご連絡ください。

故障状況シート			
貴社名		ご担当者名	
ご住所			
TEL		FAX	
製品型番	ワンレバーまぜまぜ(型式:MZ-　　　N3P)		
状態			

株式会社日本イトミック

本社・営業本部 ・・・ **TEL：03（3621）2121（代）**
FAX：03（3621）2130
〒131-0045　東京都墨田区押上 1-1-2（東京スカイツリーイーストタワー 24F）
ホームページ　http://www.itomic.co.jp/

《保守契約に関するご相談》

弊社製品を永くお使いいただくためにはメンテナンス契約が有効です。詳しくは下記の弊社リニューアル課までご連絡ください。
また、部品のご注文はフロント課で承っています。

リニューアル課 ・・・ **TEL：03（5860）4992（代）**
FAX：03（3621）2163

《修理に関するお問い合わせ》

ご連絡の際には使用製品の型番・製造番号等の情報をご用意ください。

一般電話・公衆電話の場合（市内通話料金でご利用可能です）

0570−011039

【ナビダイヤルに関するご注意】

※ナビダイヤルは通話料のみでご利用できます。
※電話窓口が混雑している場合、アナウンスが流れた後、話中の音が流れる場合があります。
その場合には、時間をおいて再度おかけ直しください。
※ＰＨＳ、ＩＰ電話からはご利用になれません。その場合には関東地区のお客様はフロント課、中部・北陸・近畿地区のお客様は西日本修理受付センター、その他の地域のお客様は最寄りの営業所・地区販売会社まで直接お電話ください。

フロント課 ・・・・・・ **TEL：03（3621）2161（代）**
FAX：03（3621）2163

西日本修理受付センター ・・・ **TEL：052（228）0824**

《担当エリアと営業所・地区販売会社》

北海道地区 ・・・ **TEL：011（615）6681（代）**
（株）北海道イトミック　**FAX：011（615）7004**
〒063-0801　北海道札幌市西区二十四軒 1 条 5-1-10（ラポール 24 軒 2 号館）
担当エリア：北海道地区全域

東北・新潟地区 ・・・ **TEL：022（773）6161（代）**
（株）東北イトミック　**FAX：022（773）6213**
〒981-3125　宮城県仙台市泉区みずほ台 4-3
担当エリア：青森県／岩手県／秋田県／山形県／宮城県／福島県／新潟県

関東地区 ・・・ **TEL：03（3621）2121（代）**
（株）日本イトミック　**FAX：03（3621）2130**
〒131-0045　東京都墨田区押上 1-1-2（東京スカイツリーイーストタワー 24F）
担当エリア：東京都／千葉県／埼玉県／茨城県／栃木県／群馬県／山梨県／神奈川県／静岡県

中部・北陸地区 ・・・ **TEL：052（222）2561（代）**
（株）日本イトミック　中部営業所　**FAX：052（222）2559**
〒460-0002　愛知県名古屋市中区丸の内 1-4-12（アレックスビル 3F）
担当エリア：富山県／石川県／福井県／岐阜県／愛知県／三重県／長野県

近畿地区 ・・・ **TEL：06（6226）0800（代）**
（株）日本イトミック　関西営業所　**FAX：06（6226）0802**
〒541-0048　大阪府大阪市中央区瓦町 3-4-7（KC ビル 9F）
担当エリア：大阪府／京都府／滋賀県／和歌山県／奈良県／兵庫県

中国・四国地区 ・・・ **TEL：082（240）1361（代）**
（株）日本イトミック　中国営業所　**FAX：082（240）1363**
〒730-0051　広島県広島市中区大手町 2-3-9（大手町中村ビル 2F）
担当エリア：鳥取県／島根県／岡山県／広島県／山口県／香川県／徳島県／愛媛県／高知県

九州・沖縄地区 ・・・ **TEL：092（481）3911（代）**
（株）日本イトミック　九州営業所　**FAX：092（481）3930**
〒812-0007　福岡県福岡市博多区東比恵 3-28-5
担当エリア：福岡県／佐賀県／長崎県／大分県／熊本県／宮崎県／鹿児島県／沖縄県

※本書に記載の内容は、製品の改良や仕様の変更などにより予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

この印刷物は、再生紙と植物油インクを使用しています。

MZ00D10002-9

'15.01-6-1-2 Ⓘ